

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
補益剤 補陰剤 16		
げっかがん 月華丸	滋陰潤肺・止咳止血	天門冬・麦門冬・生地黄・熟地黄・山薬・百部・沙参・川貝母・阿膠 30g・茯苓・ 獺肝・三七各 15g・菊花・桑葉各 60g 丸薬にし、1日3回15gずつ服用する。
医学心悟	<p>主治は、肺腎陰虚による乾咳、少痰、痰に血が混じる或いは咯血、口や咽の乾燥感、潮熱、手のひらや足の裏のほてり、舌質が紅絳、舌苔が少、脈が細数などの症候を呈す。</p> <p>天門冬・麦門冬・生地黄・熟地黄・山薬・百部・沙参・阿膠は肺腎を滋潤して止咳し、川貝母・桑葉は潤肺化痰、止咳し、軽清凉散の菊花は内熱を散じる。茯苓は健脾すると共に諸薬の滋膩の弊害を防止する。獺肝は「伝尸勞極」を治するとされ、百部と共に「勞嗽」すなわち肺結核の咳嗽に有効である。それ故、本方は肺結核の晩期にみられる肺腎陰虚に適する。</p>	